

平成20年度 第1回 地域公共交通会議議事録

平成20年6月5日（木） 午前10時

市役所市長応接会議室にて地域公共交通会議を招集する。

（出席委員） 上田正憲、山田直隆、村上滋俊、藤本拓司（代理：糸川）
上野山英樹、脇村忠次、高垣太郎（代理：浜本）、中川晴雄、
西村芳通、寺嶋啓一、山下雅己（代理：谷口）、宮脇康一（代理：平松）

（欠席委員） 江川博幸、北村修、田村政博

（出席事務局職員） 雑賀茂男、大中真人、谷輪吉伸、児嶋利樹

（議 事）

議案第1号 平成20年度事業計画（案）の承認について

議案第2号 平成20年度予算（案）の承認について

報告事項1 監査委員の選出について

報告事項2 地域公共交通活性化・再生総合事業の進行状況について

会議開会に先立ち、午前10時より新たに就任された地域公共交通会議委員に委嘱状を交付。

第1回地域公共交通会議の開会を宣言する。

会長挨拶、委員紹介を終え、議事へ移る。

（事務局）

本日は過半数以上の委員様にご出席いただいておりますので、本会議設置要綱第5条第2項により本会が成立したことをご報告いたします。

それでは同要綱第5条の規定により、会長を議長といたしまして、これより議事に移らせていただきます。上田議長よろしく申し上げます。

（議長）

それでは、議事に移らせていただきます。本日の議事は議案2件、報告事項2件の計4件となっております。議案につきましては、第1号及び第2号を一括議題とさせていただきます。よろしく申し上げます。

それでは、議案第1号「平成20年度事業計画（案）の承認について」及び議案第2号「平成20年度予算（案）の承認について」を事務局より説明をお願いします。

事務局より説明

（議長）

ただいま事務局から説明のありました議案につきまして、何かご意見、ご質問はありますか。

無いようですので、議案第1号及び議案第2号についてのご承認をいただきたいと思います。それでは、この議案につきまして、ご異議はございませんでしょうか。

（委員一同）

異議なし。

（議長）

異議なしのお声がありましたので、議案第1号「平成20年度事業計画（案）の承認について」及び議案第2号「平成20年度予算（案）の承認について」は原案のとおり承認されました。

続きまして、報告事項1「監査委員の選出について」の報告を事務局よりお願いします。

事務局から報告

・要綱第10条の規定により、会長が2名の監査委員を選任したことについて報告。

（議長）

続きまして、報告事項2「地域公共交通活性化・再生総合事業の進行状況について」を説明願います。

事務局から報告

・地域公共交通総合連携計画及び地域公共交通活性化・再生総合事業について、認定申請・補助金交付申請及びそれらの決定状況についての進捗を説明。

・5月より料金等について変更して運行しているため、直近（5月分）の乗車人員等の報告及び従前との比較。

・今後の予定について説明。

（議長）

ありがとうございました。ただいまの説明について、何かご意見、ご質問はございませんか。

(委員)

現在デマンドになっている地域の実態については、きちんと掴めていない。こちらからは利用が少ないからデマンド地区に指定しているという一方の見方があるが、地元住民からするとバスストップを作ってくれないから乗らないという意見も他方ではある。この辺を一回調査する必要があると感じる。

停留所を作ってくれれば乗ってくれるというのであれば、当然デマンドから常設の停留所への移行も考えなければならない。

(事務局)

デマンド地区からの利用については実際非常に少ないというのが現状です。それらの場所に定期的にバスを乗り入れた場合、どれくらいの利用者がおられるかについては、はっきりと実態を把握しているとは言えません。事業者とも協議を行ってこの期間中に地域の方々へのアンケート調査を行っていきたいと考えております。

(委員)

日曜日は有田市立病院なども診察をやっていないので利用も少ないと思うが、他の日と比べてどうか。

もし、少ないようであれば、何かの工夫をもっと考えて他の利用にまわすといったようなことをやっていかないといけないのではないかと。

(事務局)

確かにおっしゃるとおり、日曜日の乗車人員は少ないです。先ほどの説明でも一部ふれましたように、一週間を同じような形態で運行することについては非常にもったいないという面も感じております。これからは観光協会や商工会議所などと連携をとりながら、例えば日曜日に観光スポットの方へバスを走らせるような運行ルートなどといったようなルート設定を考えていくことも、これからの課題だと思っております。

(委員)

高齢者になってくると免許証の更新が1年毎になってきたりすることなども考えると、今後ますます公共交通の利用者は増えてくると思う。3年間の計画だけではなく、5年後、10年後まで見据えたシミュレートも必要ではないかと思う。

(事務局)

計画の最終目標は高齢者が自家用車に依存することなく生活できるまちづくりをしたいということを掲げております。

(委員)

80歳、90歳になってくると体も弱くなってきて、本当であれば免許証を返納したいが、買い物と病院が不便だ。毎回タクシーを使うとなると年金のみの収入でとてもじゃないが生活していけない。このような声があるのは確かです。

今後団塊の世代の方々が高齢化していくことで、高齢者は爆発的に増えていくことを考えると将来構想としては非常に良いと思う。

(委員)

5月の利用人員の話があったが、料金を200円に改定したにもかかわらず、利用客がそれほど減少しなかったということは非常にありがたいことだ。

(事務局)

人数がそれほど減少しなかったから運賃収入が単純に倍という話にはなりません、変更前に心配していたような利用人員の減少がなく一端はほっとしているところです。

(委員)

休日に観光ルートをまわるバスも検討してみてもという意見があったが、電車で来る観光客はどれくらいで、どこへ行っているケースが多いのだろう。個人的にはやはり車で来ている人が多いように感じる。

(事務局)

観光客の正確な人数や動向の把握は難しいというのがほんとうのところでは。今後そのようなルートを実際に検討する時には、それらのことについて具体的に研究していく必要があると考えております。

(議長)

他に何かございませんか。

無いようですので、これで平成20年度第1回有田市地域公共交通会議を閉会いたします。本日は、お忙しい中どうもありがとうございました。

会議終了